



野木町国際交流協会【NIA】

発行：野木町国際交流協会情報交流部 所在地：栃木県下都賀郡野木町丸林 571 野木町公民館内  
TEL 0280-57-4188 <http://nogitown.hacca.jp/> MAIL [itoh\\_masa@yahoo.co.jp](mailto:itoh_masa@yahoo.co.jp)

2019年 11月 1日発行



## 野木町国際交流協会『日本語教室』

野木町国際交流協会は、設立から今年で23年を迎えました。

私たちの事業の一つとして、野木町在住の外国人に日本語を教える「日本語教室」があります。

この「日本語教室」は、毎週日曜日に野木町公民館で開かれております。

インドネシアの生徒が15名、タイから8名、ベトナムから9名、彼らは全員二十歳代の青年で、家族から離れて日本に来た技能実習生です。

また技能実習生以外にも、ブラジル、フィリピン、中国の生徒がおり、総勢35名になります。

以前は多くのブラジル人が野木町にいましたが、2008年のリーマンショックにより、ブラジル人の数は急速に減少しました。

最近では、特に東南アジアからの技能実習生が急増しております。

今年の6月21日に「日本語教育推進法」が国会で成立し、外国人への日本語教育が、今後さらに重要になってきます。

最後に、私たちの日本語教室の目標は、教材を使用して日本語を教えるだけでなく、技能実習生たちが、日本語で話をすることに自信を持ち、野木町で開催されるいろいろなイベントに参加してもらうことです。

また、将来的には野木町で行われている各種サークルに、彼らが積極的に参加することで、母国から離れても楽しく過ごせるよう役に立ちたいと考えております。

野木町国際交流協会 山田 渉

## 【Japanese language class at Nogi-town International Association】

It has been twenty-three years this year since the Nogi-town International Association established.

As one of our businesses, there is a Japanese language class that teaches Japanese to foreigners who live in Nogi-town.

This "Japanese Language Class" is held at the Nogi-town Community Center every Sunday.

We have fifteen students from Indonesia, eight from Thailand and nine from Vietnam.

They all are 20's, away from their family and came to Japan as technical trainees.

Besides them, we also have Brazilian, Philippines, and Chinese students, and there are thirty-five people in total.

Many Brazilians used to live here before, but the number of Brazilians population declined rapidly after the collapse of the Lehman Brothers in 2008.

Recently, we have more technical trainees, especially from Southeast

Asia, the number of trainees has been increasing rapidly like any other city in Japan. Therefore they are our majority students.

As of June 21st this year The National Language Education Promotion Law was established, and the Japanese language education for foreigners will become more important from now on.

At last, our Japanese language class is not only for teaching the Japanese language but also for helping the students to have a lot of confidence in speaking Japanese and to participate in many events held in Nogi-town.

We also would like to help them to be able to enjoy their life more in Japan by participating in the various events/classes held in Nogi-town by themselves, even though they are far away from their home country.  
(translated by Yumiko)

## 9月15日研修バスツアー

日頃仕事で時間がない日本語教室の生徒と共に、日本の文化の一端でも触れられようバスツアーを企画しました。

今回は、上野国立科学博物館～水上バス～浜離宮～東京タワのルートを選びました。

生徒36名のメンバーは、インドネシア人15名、タイ人8名、ベトナム人12名と中国人1名です。

国籍が違くと、お互いの母国語は通じないので、日本語で意思疎通を図っておりました。



ムスリムの生徒もいるので、どこに行ってもお祈りの場所を確保してやらなければなりません。

日本では、まだまだお祈りできる部屋等を貸してくれるところが少ないので、この場所を確保するのも結構大変なことでした。

みんな20代の若い生徒ばかりで、バスツアーをすることは殆どないので、どこの場所も魅力があったと思います。

帰りのバスの中では疲れた様子でしたが、お互い仲良くなり、車中カラオケを始めると日本語の歌“未来へ”等を上手に合唱していたのには驚かされました。彼らの日本好きの一面を見た思いです。



前回の「きずな」春号で、スピーチコンテストで優勝したサムシアさんの内容をお伝えしましたが、今回は、インドネシアとタイの日本語教室生徒が感想文を書いてくれましたので、その中から2つを紹介いたします。

## 岡本物流(株) 勤務 マウラナ マフグフル (国籍：インドネシア)



このスピーチ内容に対する私の感想は、一人の女性の気高い心についてです。

助産師の仕事は簡単なものではなく、そして給料もそれ程ではありませんが、とても崇高な仕事です。

だから私たちが崇高な願いや理想を抱くとすれば、必ずや両親はその願いが実現できるように一生懸命働いて支援してくれることでしょう。

親たちも又、同様に母親のお腹から生まれたことを知っているからです。

このスピーチは、成功するまでの歩みは容易ではないこと、大きな夢には同じように大きな努力が必要であることを私に教えてくれています。

そして、私が日本にすることが出来るのも私の両親のお陰だと大変感謝しております。

いつの日か、私は両親に恩返しをして幸せにします。

また、私が住む地域には失業者がとても多いので、帰国したら会社を設立して皆さんが子供たちの学費を払うことが出来、将来立派な人に育てることが出来るように働く場を作り出します。

何故なら、農作物の収穫だけに頼ってでは、毎日が食べるのに精一杯の収入だけで、とても高い学費を払うことが出来ないからです。

私は、日本人のものの考え方、勤労の精神を学びます。

例えば、時間を大切にすること、周囲への気配りなどです。

そして後々は私のインドネシアの会社で、この仕事のシステムを活かすようにします。

私は、現状について学び改善する意思がある限り、決して遅すぎると云うことは無いと思っています。

## 岡本物流(株) 勤務 ナッタプーム クリンホーム (国籍：タイ)



私は、ナッタプーム・クリンホームです。

タイのバンコクから来た 26 歳です。

家族は四人で、母・兄・妹、そして私です。現在、日本の岡本物流で実習を行っています。

サムシアさんのスピーチを読んで、色々な感想を抱きました。

部分的には私の家族と同じで、例えば豊かな家庭ではないので学費の問題を抱えていることです。



大学を卒業した後は、家族を経済的に助けるため、自分が生活するために直ぐに就職しました。就職先はチョンブリ県の小さい小学校で、総務担当として勤務しました。

この学校は、学生が200～300人いますが、先生の数はいくつか少ないです。先生の人数が足りないのので、校長先生と私が生徒たちに教えることもありました。

そのおかげで、私は思ったより日本の漫画や日本語に興味を持つ学生が沢山いることを知りました。

この様に、日本語に興味を持つ学生がいても、私が何もしなければこの学生たちの能力を開発することは出来ません。

私は、日本に興味がある学生たちの為に、母国の各地で日本語の学校を開く夢を持ちました。そのために、AIMJAPANのプログラムに参加することにしました。

日本で働いて、日本語を学んで、母国で小さな日本語学校を作るためにお金も蓄えます。

私の夢は、他の夢とは違いそれほど大きなものではありません。

しかし、生徒たちは私が教えることや、私が言ったことに興味を持ってくれたら幸せになる筈です。

### 31年度「おもてなし英会話講座」



2019年度「おもてなし英会話講座」は2020年東京オリンピックに向けて野木町を訪れた外国人に、英語で声を掛けて、気軽に野木町を紹介したいと意欲を持つ方々が参加して行われました。

先生はフィリピン出身で、日本に2年在住し、野木町の小学校でALTをしているチャリサ先生です。講座は活気に溢れてとても賑やかに終了しました。短時間での英語の習得は大変ですが、少しずつでも頑張っていきましょう。

外国人に日本語を教えて頂けるボランティアの方、募集しております。  
国際交流協会事務局 (0280-57-4188) 迄、ご連絡ください。